

# 環 境 課

## ○ 伊勢市環境審議会

伊勢市環境基本条例第 11 条の規定に基づき伊勢市環境審議会を設置し、環境基本計画の進捗状況等について審議している。

伊勢市環境審議会委員 会長：森和紀（日本大学教授）、副会長：深草正博（皇學館大学教授）、その他委員：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者 9 人、学識経験を有する者 2 人、その他市長が必要と認める者 8 人。

## ○ 環境管理システムの推進（ISO14001 認証事業）

市の事業活動等において、ISO14001 環境管理システムを構築し、及び実践することにより、市民、地元事業者等に対して率先垂範を示し、その環境保全意識の向上を図るため、平成 11 年 12 月 27 日に認証を取得して、継続的改善に取り組んでいる。

平成 14 年 10 月 1 日から一部の出先庁舎でも取組を開始し、平成 18 年 7 月 1 日からは各総合支所でも取組を開始した。

主な内容は、庁内電力使用量及び事務用紙使用量、公用車燃料使用量、可燃ゴミ発生量の削減など環境負荷を軽減する取組と、公共用施設への太陽光発電システム設置、低公害車の導入など環境保全を促進する取組などが挙げられる。

## ○ 市民版 ISO 普及事業（エコファミリー）

環境管理システムの考え方を家庭でも取り入れ、市民による自主的な環境保全活動の推進を目的として、平成 14 年度から実施している。一般応募により参加者を登録し、各家庭で一定期間ごみ・電気・ガス・水などに関する環境保全活動に取り組んでもらい、認定証と記念品を授与した。

（平成 18 年度結果 取組終了 42 世帯）

## ○ 環境リサイクルフェア開催事業

伊勢市環境基本計画、ISO14001 取組状況、ごみ減量化対策等を市民に周知し、またいろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成 18 年 10 月 8 日（日）10 時～15 時に、朝熊町県営サンアリーナ（メインアリーナ及び外部広場）において、伊勢市ごみ問題市民会議、伊勢市生活排水対策活動推進協議会と市（環境課、資源循環課）の協働で環境リサイクルフェアを開催した。

なお、伊勢志摩労働者福祉協議会主催の 2006 福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g 」と同時開催とした。

出展内容は、有緝小学校合唱、リサイクルポスター入選者表彰式、体験コーナー（アクリルタ

ワシ作り、空き缶釣り、手作りおもちゃ、リサイクル軍手人形作り、マイバッグお絵かき)、展示(下水道コーナー、ごみコーナー、リサイクルポスター、勢田川写真、水生生物・水質調査結果、環境基本計画)、小中学生による環境に関する取り組み事例作品展示、フリーマーケット、外部広場で業者等による出展(太陽光パネル展示、BDF普及展示、リサイクル啓発展示、発砲スチロールリサイクル、ソーラーカー展示)。(来場者数は福祉フェスティバル分を含めて約25,000人)

## ○ 新エネルギー事業

家庭でも比較的取り組みやすい新エネルギーの導入を促進し、地球温暖化防止対策を推進するために、三重県が各市町に対し補助を行う「家庭用新エネルギー普及支援事業」を利用し、以下のとおり実施した。

区分	補助金額	件数	支出額
太陽光発電設備	120,000円	10件	1,200,000円
太陽光発電設備+Co2冷媒ヒートポンプ給湯器	160,000円	43件	6,880,000円
太陽光発電設備+家庭用ガスエンジン給湯器	220,000円	0件	0円
小型風力発電設備	120,000円	0件	0円
計	—	53件	8,080,000円

## ○ 放置自動車対策事業

放置自動車の発生を防止して、地域の美観を保持し良好な都市機能を維持するため、伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例を制定し(平成17年11月1日制定、同日施行)、市道、公園、市営住宅等の市有地に放置された自動車に対し適切な措置を講じている。条例の運用は公共用地管理者(各課)が行う(処分経費は環境課で予算計上)。私有地については警察等と協力して助言指導を行う。(18年度放置自動車処分台数9台)。

## ○ 生活排水対策啓発事業

市民の生活排水対策に対する意識の高揚を図るため、伊勢市生活排水対策活動推進協議会と下記のとおり啓発事業を実施した。

11月18日 厚生小学校文化祭参加・・・写真・パネル展示、EMコーナー、クイズ等

2月16日、3月1日 エコクッキング、ゴミを出さない料理の仕方

伊勢市生活排水対策活動推進協議会委員 会長：山崎智(伊勢市総連合自治会)、副会長：朝比奈喜美子(伊勢市婦人会連絡協議会)、その他委員：住民組織代表2人、生活排水に関する団体の代表7人、その他市長が必要と認める関係機関等の代表10人、スタッフ3人

## ○ 生活排水対策用品配布事業

家庭でできる生活排水対策推進のため、持続効果の高い1mm目三角コーナー・ストレナーを一部有償（300円）で希望者に配布し、公共用水域の汚濁負荷量の軽減と生活排水の意識啓発を行った（配布個数117個）。

## ○ 浄化槽設置件数

浄化槽の建築確認、設置届による届出件数及び浄化槽の廃止による届出件数は、次のとおりであった。

人槽別 受付別	5～10 人槽	11～50 人槽	51～100 人槽	101～500 人槽	501人槽 以上	計
建築確認、設置届受付件数	532 件	58 件	12 件	5 件	0 件	607 件
廃止届受付件数	1,132	9	1	0	0	1,142

## ○ 小型合併処理浄化槽設置事業補助金

生活排水対策の推進を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。公共下水道事業認可区域については、平成13年度より市単独分で補助を行っている。

### 1 18年度補助実績

人槽	18年度分			18年度分 (下水道認可区域内)		
	補助 基準額	補助 基数	補助 金額	補助 基準額	補助 基数	補助 金額
	千円	基	千円	千円	基	千円
5	354	206	72,924	118	36	4,248
7	411	192	78,912	137	38	5,206
10	519	27	14,013	173	3	519
計	—	425	165,849	—	77	9,973

## ○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理及び火葬業務を衛生的、効率的に行った。

### 1 18年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分				備 考
	し 尿	斎 場	ご み	計	
共通経費	千円 2,086	千円 389	千円 6,149	千円 8,624	平等割10% 加入事務数割90%
運営経費	177,608	33,155	523,546	734,309	実績割100%
建設経費	134,632	4,811	197,660	337,103	平等割10%、人口割90%
公債費	119,084	—	287,844	406,928	元利補給金
清掃事業所負担金	—	—	3,696	3,696	
計	433,410	38,355	1,018,895	1,490,660	

2 18年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊勢市分	他町分	計
	1	1	1
4	4,773,050	1,109,940	5,882,990
5	4,814,950	1,460,180	6,275,130
6	5,619,380	1,504,880	7,124,260
7	5,437,600	1,407,360	6,844,960
8	5,125,360	1,438,240	6,563,600
9	5,269,540	1,194,490	6,464,030
10	5,361,990	1,013,430	6,375,420
11	4,820,120	745,880	5,566,000
12	6,426,610	1,064,620	7,491,230
1	4,471,440	782,310	5,253,750
2	5,154,270	1,546,370	6,700,640
3	5,862,730	2,378,680	8,241,410
計	63,137,040	15,646,380	78,783,420

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区分	16年度	17年度	18年度
	k1	k1	k1
伊勢市分	62,782	59,994	63,137
他町分	11,783	10,776	15,646
計	74,565	70,770	78,783

(注) 16年度及び17年4～10月分は市町村合併前の数値とした。

伊勢市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数10業者、許可車両台数32台（浄化槽専用4台）

4 18年度斎場利用状況

区分	市内	管内他町	管外	計
12歳以上の者	件 1,271	件 362	件 51	件 1,684
12歳未満の者	6	1	1	8
死産児	35	2	6	43
計	1,312	365	58	1,735
胞衣汚物	59	2	1	62
霊安室利用	3	1	0	4

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区分	16年度	17年度	18年度
	件	件	件
伊勢市分	1,306	1,314	1,312
管内他町分	426	384	365
管外分	56	58	58
計	1,788	1,756	1,735

## ○ 防疫

生活環境の保全を図るため、希望自治会にオルソ乳剤無償配布（1世帯当り 100g を限度）、煙霧消毒機械貸出（22 台保有）を行った。また薬剤販売やハチ防護服貸出（40 件）を行った。

種別	区分	対象	件数	薬剂量	収入金額	備考
オルソ乳剤	無償配布	自治会	38 件	1,018 kg	円 -	
		市職員実施	0	0	-	
	薬剤販売	自治会	1	1	780 円	780 円/kg
煙霧消毒 (油剤)	機械貸出	自治会	68 件	1 2,282 kg	円 -	
		その他	0	0	-	
	市職員実施	公共施設等	44	113	-	
		私立保育園	0	0	-	
		災害復旧他	0	0	-	

## ○ 畜犬登録及び狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく平成 18 年度畜犬登録件数は 672 頭、狂犬病予防注射件数は 5,564 頭（うち獣医師等 2,716 頭）であった。

## ○ 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分	犬雄	犬雌	猫雄	猫雌	計
補助基準額	3,000 円	4,000 円	2,500 円	3,500 円	-
補助件数	83 件	79 件	113 件	232 件	507 件
補助金額	249,000 円	316,000 円	282,500 円	812,000 円	1,659,500 円

## ○ 伊勢公衆浴場組合の助成

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合に水道料金の一部助成を行った。

平成 18 年度浴場数 10 件 助成金 816,000 円（事業費 1,444,270 円）

## ○ 市営墓地

市が管理する大世古墓地及び大湊墓地について、管理及び清掃業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

墓地名等	委託先	委託料	備考
大世古墓地管理	大世古 3 丁目 北村日出子	円 156,000	
大世古墓地清掃	伊勢生きがい対策事業団	8,260,000	老人生きがい対策事業
大湊墓地管理及び清掃	大湊町寿会老人クラブ	420,000	
計	-	8,836,000	

## ○ 墓地整備事業

市営墓地内の設備改修、樹木伐採等により適正な維持管理に努めた。

施行場所	業務名	業務概要	金額	着手	完了
大湊墓地	大湊墓地ブロック塀改修工事	ブロック塀改修業務	円 4,124,400	18.10.20	18.12.28
やすらぎ公園内	やすらぎ公園無縁塚防根シート設置工事	防根シート設置業務	399,000	18.11.27	18.12.8
大世古3丁目地内	大世古墓地樹木伐採業務委託	樹木伐採業務	1,942,500	19.1.21	19.3.15

## ○ 共同墓地整備費補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓地名	事業費	補助金	摘要
宮後町墓地	円 3,412,500	円 2,106,000	墓地内通路舗装
朝熊町自治会 共同墓地	94,097	62,000	通路（階段）改修、側溝蓋設置
	185,220	123,000	樹木伐採
北明野墓地	619,500	413,000	焼香場屋根改修、六地藏屋根補修
植山町墓地	2,218,000	1,360,000	墓地増設、擁壁改修
江区墓地	357,000	238,000	階段補修、手摺設置
浦口町墓地	2,214,682	1,476,000	擁壁補強、階段手摺設置
荘区墓地	265,817	177,000	焼香場修繕

## ○ 公害対策事業

### 1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、県環境森林部により厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行ったが、平成18年度は光化学スモッグについては問題なかった。

### 2 水質調査

河川や海域の水質汚濁の防止を図るとともに、汚濁状態を把握するため定期測定計画を定め、河川や海域の水質及び主要事業所の排水を調査した。

#### (1) 18年度調査実施状況

区分	河川水質 (10河川)	事業所排水	海域	幹線排水路 水質	勢田川水質	河川界面 活性剤調査
地点	25	21	6	4	5	32
項目	15	15	6	9	10	1
回数	4	3	4	4	12	1

(2) 河川BOD経年変化

年 度	13	14	15	16	17	18	環境基準
	mg/ l	mg/ l	mg/ l	mg/ l	mg/ l	mg/ l	
宇治橋 (五十鈴川)	1.0	0.9	1.0	0.8	0.7	0.6	1mg/ l 以下
堀割橋 (五十鈴川)	0.9	1.1	0.9	1.0	1.0	0.8	2mg/ l 以下
勢田大橋 (勢田川)	▲6.0	▲6.2	▲5.5	▲7.0	3.8	▲6.7	5mg/ l 以下
度会橋 (宮川)	1.0	0.9	▲1.2	0.9	▲1.1	0.7	1mg/ l 以下
大野橋 (外城田川)	2.2	2.1	2.5	1.7	2.5	1.5	3mg/ l 以下
豊浜橋 (外城田川)	1.5	1.8	1.7	2.3	1.9	1.6	5mg/ l 以下
有滝橋 (江川)	2.1	2.1	1.4	1.0	1.4	0.9	—
大堀川橋 (大堀川)	2.4	2.1	1.8	1.7	2.9	1.5	—
野垣外橋 (汁谷川)	3.6	1.8	2.8	2.3	3.1	0.8	—

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は年4回の平均値

ただし、勢田大橋については年12回の平均値

(3) 海域COD経年変化

年 度	13	14	15	16	17	18	環境基準
	mg/ l	mg/ l	mg/ l	mg/ l	mg/ l	mg/ l	
東大淀沖	2.0	0.8	0.7	1.4	0.2	0.7	2mg/ l 以下
村松沖	▲2.2	0.8	0.7	0.8	0.5	0.8	2mg/ l 以下
豊北漁港	1.9	1.6	0.7	0.8	0.7	0.9	3mg/ l 以下
大湊沖	1.9	0.5	0.5	0.5	0.2	0.7	3mg/ l 以下
宇治山田港	0.7	1.3	0.6	1.0	0.8	0.8	3mg/ l 以下
宇治山田港沖	1.0	1.1	0.6	0.9	0.5	0.6	3mg/ l 以下

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は年4回の平均値 (17年度は3回の平均値)

3 公害苦情等処理状況

相隣関係的な苦情が多く、18年度の苦情処理結果は、大気汚染30件、水質汚濁13件、騒音13件、悪臭18件(内未解決3件)、振動2件、その他10件、合計86件であった。

○ 特定施設等届出

公害関係法令に基づき事業場等に設置される一定規模以上の施設について、次のとおり届出があった。

区 分		18年度届出数		18年度廃止届出数		18年度末 累計届出数	
		企業	施設	企業	施設	企業	施設
大気汚染防止法	ばい煙	1	1	3	3	88	186
	粉じん	1	1	0	0	6	11
水質汚濁防止法		3	4	1	1	672	1,296
騒音規制法		0	0	0	0	92	377
振動規制法		0	0	0	0	29	105
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	0	0	0	0	19	116
	粉じん	0	0	0	0	27	145
	騒音	6	8	0	0	270	1,924

	振動	3	6	0	0	70	435
	汚水	0	0	0	0	1	1
	揚水設備	0	0	0	0	1,049	1,274
	ダイオキシン類対策特別措置法	0	0	0	0	7	13
	計	14	20	4	4	2,330	5,883



# 資 源 循 環 課

## 1 ごみ排出量及び処理経費の推移

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び過去3年間の処理経費の推移は次のとおりであった。

### (1) 過去5年間のごみ排出量の推移

年 度	14年度	15年度	対前年度増減	16年度	対前年度増減	17年度	対前年度増減	18年度	対前年度増減
可燃ごみ	38,107 <sup>t</sup>	33,598 <sup>t</sup>	△11.8%	34,065 <sup>t</sup>	1.4%	33,189 <sup>t</sup>	△2.6%	34,066 <sup>t</sup>	2.6%
不燃ごみ	2,918	2,770	△5.1	2,419	△12.7	2,116	△12.5	1,885	△10.9
粗大ごみ	1,738	1,861	7.1	1,945	4.5	1,667	△14.3	1,695	1.7
小 計	42,763	38,229	△10.6	38,429	0.5	36,972	△4.0	37,646	1.8
資 源 物	4,401	5,519	25.4	5,320	△3.6	5,264	△1.1	5,223	△0.8
乾電池	37	36	△2.7	40	11.1	43	7.5	41	4.7
蛍光管	—	14	—	25	78.6	26	4.0	27	3.8
合 計	47,201	43,798	△7.2	43,814	0	42,305	△3.4	42,937	1.5

(注) 対前年度増減(%) = (18年度 - 17年度) / 17年度 × 100

### (2) 平均排出量の推移

#### ア ごみの各平均排出量

年 度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
各年度末人口 <sup>(人)</sup>	100,545	99,969	99,691	99,126	98,095
各年度末世帯数 <sup>(世帯)</sup>	37,344	37,609	37,978	38,289	38,451
総ごみ排出量 <sup>(t)</sup>	47,201	43,798	43,814	42,305	42,937
1日平均排出量 <sup>(t/日)</sup>	129.32	119.99	120.04	115.90	117.64
1日1人平均排出量 <sup>(g/人・日)</sup>	1,286.2	1,200.3	1,204.1	1,169.3	1,199.2
1日1世帯平均排出量 <sup>(g/世帯・日)</sup>	3,462.9	3,190.5	3,160.8	3,027.1	3,059.4

### (3) 処理経費の推移

年 度	15年度	16年度	17年度
処 理 経 費	1,337,481,000 円	1,397,336,000 円	1,474,079,000 円

ごみ 1 t 当りの経費	30,537	31,892	25,508
1 人 当 り の 経 費	13,379	14,017	10,766
1 世帯当りの経費	35,563	36,793	28,248

(注) 処理経費は、毎年度環境省より実施される一般廃棄物処理実態調査で報告したものをいい、人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金（運営経費（うち建設改良費）、建設経費及び公債費除く。）、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を加えたもの。なお、17年度については旧4市町村の合算とした。

## 2 伊勢広域環境組合

4市町（伊勢市、明和町、玉城町及び度会町）で構成する伊勢広域環境組合にて、ごみの適正処理を行った。

### (1) 中間処理施設

施設名	所在地	型式	公称処理能力
伊勢広域環境組合 焼却処理施設	西豊浜町 653 番地	全連続燃焼式ストーカー 炉	240 t / 24 h
伊勢広域環境組合 粗大ごみ処理施設	〃	横型回転式破砕機	30 t / 5 h
		剪断式破砕機	15 t / 5 h

### (2) リサイクルプラザ

施設名	所在地	型式	公称処理能力
伊勢広域環境組合 リサイクルプラザ	西豊浜町 653 番地	その他プラスチック製 容器包装圧縮梱包設備	24 t / 5 h
		びん選別設備	10 t / 5 h

### (3) 分担金・公債費内訳

区分		全体	伊勢市分	備考
共通経費		23,217 千円	6,149 千円	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	ごみ処理費	578,907	453,979	実績割 100%
	粗大ごみ処理費	87,760	69,567	
建設経費		272,149	197,660	平等割 10% 人口割 90%
清掃事業所運営負担金		4,927	3,695	清掃センター事務所 維持管理費
公債費		287,844	287,844	-
計		1,254,804	1,018,894	

## 3 ごみ資源化の推進

市内約 1,000 箇所に設置した資源ステーション・資源拠点回収ステーションにて資源物の分別収集を行い、ごみの資源化を図った。また、回収量（資源化量）の推移は、次のとおりであった。

(1) 資源びん

年 度	回収量及び単価	無 色	茶 色	その他の色	計
16 年度	回収量(kg)	384,360	303,500	138,000	825,860
	売却単価(円/kg)	0.525	0.525	△0.960	—
17 年度	回収量(kg)	409,130	331,900	113,160	854,190
	売却単価(円/kg)	0.525	0.525	△0.704	—
18 年度	回収量(kg)	372,490	320,180	126,470	819,140
	売却単価(円/kg)	0.525	0.525	△0.852	—

(注) 売却単価△表示は、委託単価(逆有償)を示す。また、回収量には、リサイクルプラザへの直接持込分も含む。

(2) 紙類・布類

年 度	回収量及び単価	新 聞	雑誌類	段ボール	紙パツク		布 類	計
					(1 リツ)	(200 ミリツ)		
16 年度	回収量(kg)	674,130	2,062,280	640,240	21,690	2,560	76,040	3,476,940
	売却単価(円/kg)	2.0	1.0	2.0	2.0	0	0	—
17 年度	回収量(kg)	679,890	1,964,370	583,150	21,130	1,680	67,710	3,317,930
	売却単価(円/kg)	3.5	2.0	3.0	4.0	0	0	—
18 年度	回収量(kg)	711,740	1,949,460	561,200	19,470	960	50,950	3,293,780
	売却単価(円/kg)	3.5	2.0	3.0	4.0	0	0	—

(注) 売却単価については、年度当初の契約単価を示す。

(3) ペットボトル

年 度	回収量(kg)	再商品化委託 単価及び 売却単価(円/t)	地方自治体 負担割合(%)	広域組合負担 単価(円/t)	委 託 先
16 年度	207,650	48,000	0	0	よのペットボトルリサイクル(株)
17 年度	196,869	2,100	—	—	(有) ジェイピー化工
18 年度	214,058	2,100	—	—	(有) ジェイピー化工

(注1) 平成 17 年度からは、指定法人ルートではなく独自ルートにて処理。(有償にて売払い)

(4) プラスチック製容器包装

年 度	回収量(kg)	再商品化委託 単価(円/t)	地方自治体 負担割合(%)	広域組合負担 単価(円/t)	委 託 先
16 年度	809,460	73,000	8	5,840	三重中央開発(株)

17年度	895,030	80,000	7	5,600	三重中央開発（株）
18年度	885,880	89,100	5	4,455	三重中央開発（株）

(5) 資源化率の推移

年 度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
資源化率（％）	16.12	19.32	19.18	19.84	18.93

(注) 資源化率（％）＝（再生資源回収団体の資源回収量＋資源回収量）／（再生資源回収団体の資源回収量＋ごみ総排出量）×100

※資源回収量は、市で回収した資源物量と粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量の和

(6) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録団体数 (団体)	交付団体数 (団体)	回 収 量 (kg)				奨励金 交付額 (円)
			紙 類	布 類	缶 類	計	
16年度	91	83	2,004,941	22,518	41,650	2,069,109	8,276,320
17年度	137	109	2,190,630	27,120	45,434	2,263,184	11,435,740
18年度	146	121	1,990,390	24,430	46,523	2,061,343	12,399,760

(注) 平成17年11月からは対象品目にスチール缶とリターナブルびんを追加し、1kg当たり6円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(7) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額（円）
16年度	270	281	7,103,590
17年度	236	242	6,143,300
18年度	174	182	4,392,400

(8) レジ袋減量化事業

レジ袋の削減を目的としたマイバッグの普及に関して、広報いせ・CATV等での啓発を実施した。また、子どもへの啓発のため、イベントにてマイバッグ絵付け教室を開催した。

(9) 資源拠点回収ステーション設置事業

資源びん、紙類・布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装等の分別回収の充実に伴い、資源物を分別しても、回収日まで家庭で保管しておくことが困難な状況が生じてきた。この状況を解消し、ごみの減量・資源化を更に推進するため、東豊浜、鹿海町及び大湊資源回収ステ

ーションを建設した。また、地元自治会による地域集団回収モデル事業として管理運営及び一部資源物の自主売払いなど、管理運営形態の新しい取り組みを、東豊浜町と鹿海町で開始した。

ア 搬入可能物・・・資源びん、新聞、雑誌類、段ボール、紙パック、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池及び蛍光灯

イ 搬入日・・・水曜日、土曜日、日曜日及び祝日（伊勢中央、宇治、船江、中島、城田、佐八）

月曜日～金曜日、日曜日（北浜、宮本、沼木、大湊（開設は H19 年度大湊地区コミュニティセンターと同時開設予定））

第 1・第 3・第 5 月曜日以外の日（いせトピア）

土曜日、日曜日及び祝日（東豊浜）

※年末年始は除く

ウ 搬入時間・・・午前 9 時 0 0 分～午後 4 時 3 0 分（東豊浜は正午まで）

整備年度	施設名	施設規模	所在地
14 年度	伊勢中央資源回収ステーション	144.60 m <sup>2</sup>	宮後 2 丁目 18-30
15 年度	宇治資源回収ステーション	34.60 m <sup>2</sup>	宇治浦田 2 丁目 15-29
	船江資源回収ステーション	38.34 m <sup>2</sup>	船江 4 丁目 7-7
16 年度	中島資源回収ステーション	38.83 m <sup>2</sup>	中島 2 丁目 18-2
	城田資源回収ステーション	38.83 m <sup>2</sup>	中須町 493-2
	佐八資源回収ステーション	38.34 m <sup>2</sup>	大倉町 1553-311
17 年度	北浜資源回収ステーション	19.1 m <sup>2</sup>	村松町 3-1
	沼木資源回収ステーション	21.17 m <sup>2</sup>	上野町 1215-1
	いせトピア資源回収ステーション	53.25 m <sup>2</sup>	黒瀬町 562-12
	宮本資源回収ステーション	26.96 m <sup>2</sup>	前山町 355-4
18 年度	東豊浜資源回収ステーション	31.85 m <sup>2</sup>	東豊浜町 1475
	鹿海町資源回収ステーション	11.62 m <sup>2</sup>	鹿海町 238-1
	大湊資源回収ステーション	44.02 m <sup>2</sup>	大湊町 98-5

（注）平成 14 年度より設置事業実施

エ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町	(注 1)				
	東豊浜ほか資源回収ステーション設置工事	プレハブ倉庫 延床面積 31.85 m <sup>2</sup>	2,986,200	18.12.27	19.3.15

鹿海町	〃	プレハブ倉庫 延床面積 11.62 m <sup>2</sup>	〃	〃	〃
大湊町	(注2) 大湊地区コミュニテ ィセンター新築工事	鉄骨造 延床面積 44.02 m <sup>2</sup>	3,821,711	18.8.25	19.6.5

(注1) 都市計画課施行

(注2) 建築住宅課施行

※大湊資源回収ステーションについては、3月末に完成済。(戸籍住民課へ執行委任)

#### (10)指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、平成15年4月1日より可燃ごみの指定ごみ袋制の本格実施を行った。(平成14年10月1日から試行導入実施)

##### ア 目的

- ①可燃ごみへの資源物の混入防止、ごみの減量と分別・資源化の推進
- ②危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止
- ③日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化

##### イ 導入までの経緯

平成 8年 3月	伊勢市廃棄物減量等推進審議会よりごみ減量化・資源化計画答申
平成10年 2月	伊勢市廃棄物減量等推進審議会よりごみ処理有料化についての提言
平成13年 8月	伊勢市廃棄物減量等推進審議会よりごみ指定袋・有料化に関する意見書
平成14年 10月	指定ごみ袋制の試行導入実施
平成15年 4月	指定ごみ袋制の本格実施

##### ウ 内容

- ①対象ごみ・・・可燃ごみ、不燃ごみ(小俣町用カン・くずびん指定袋) ペットボトル 御菌町用ペットボトル専用袋)
- ②指定袋種類・・・5種類(大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ、不燃30ℓ、ペットボトル45ℓ)  
高密度ポリエチレン製、乳白色系半透明、充填材含む(消石灰系複合物等5%以上)
- ③販売方法・・・「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売  
(平成19年3月31日現在 販売店登録数約400店舗)

④販売価格・・・希望小売価格制度にて販売

市の提示する希望小売価格

- ・可燃（大袋 70 円、中袋 50 円、小袋 35 円：税別）
- ・不燃（小俣町用カン、くずびん指定袋 90 円：税別）
- ・ペットボトル（御菌町用ペットボトル指定袋：無料）

エ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市指定ごみ袋 納入業務委託	伊勢市指定ごみ袋の 納入、保管、配送、 受け払い、配送量報 告及び数量管理報告 業務 【可燃（大袋、中袋、 小袋）、不燃、ペット ボトル】	円 81,438,525 (2ヵ年契 約)	18. 3. 22	20. 3. 31
計	1 件	—	81,438,525	—	—

(11)資源化実験事業

ごみの減量及び資源化を図るため、特に生ごみの更なる減量・資源化を推進し、家庭から排出される生ごみの資源化への可能性を探るため、平成 16 年 2 月よりモデル地区に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化のデータ収集（地域での生ごみ処理機共同利用状況、アンケート調査等）を行った。

ア 貸与自治会数 1 自治会（津村団地自治会）。

イ 貸与基数 1 基

ウ 利用状況

年 度	生ごみ投入量	取出し堆肥量 (一次処理物)	堆肥化率 (%)	減量化率 (%)
16 年度	5,166 k g	936 k g	18.12	81.88
17 年度	4,260 k g	721 k g	16.92	83.08
18 年度	4,584 k g	808 k g	17.63	82.38

エ 取出し堆肥（一次処理物）の利用先

津村団地の住人が住宅の庭の植木や家庭菜園、近隣の農家において利用した。

4 環境美化

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

ごみの散乱を防止するとともに住民の美化意識の高揚を図り、市民の良好な生活環境を確保

することを目的に、廃棄物集積所を設置した自治会に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額（円）
16年度	9	16	885,000
17年度	8	13	1,470,000
18年度	26	60	8,770,000

(注) 合併後、上限 500,000 円を限度として、利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

## 5 啓発事業関係

### (1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 172 自治会より推薦された 367 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

### (2) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する自治会や小学校等を対象に、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。又、平成 19 年 4 月より新たな分別（ガラス類・陶磁器類）を開始するにあたり自治会単位で説明会を実施した。

#### ・ごみの分別等説明会

説明会開催回数…延べ 12 回

参 加 人 員…延べ 894 人

#### ・ガラス類・陶磁器類分別説明会

説明会開催回数…延べ 117 回

参 加 人 員…延べ 3,693 人

### (3) ごみリサイクルカレンダーの作成

伊勢市ごみ問題市民会議と協力して、カレンダー機能及びごみ収集日、ごみの分け方・出し方等の啓発内容を合わせて記載した「ごみリサイクルカレンダー」を旧伊勢市、二見町、小俣町、御菌町ごとに作成し、広報いせ 3 月 15 日号と同時に全戸に配布した。

作 成 部 数…旧伊勢市 43,000 部

二見町 4,000 部

小俣町 8,000 部

御菌町 5,000 部



6 不法投棄防止対策事業関係

(1)パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄多発地点を定期的にパトロールするとともに、市内4箇所に設置した監視カメラ(移動式)で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2)不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発を防止した。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物処分量

テレビ 123 台、冷蔵庫 36 台、洗濯機 31 台、エアコン 25 台、タイヤ 220 本 他

(3)伊勢地域不法投棄防止対策協議会への参加

家電リサイクル法の施行等に伴い増加が危惧される不法投棄について、6市町及び関係5団体で構成する伊勢地域不法投棄防止対策協議会に参加し、啓発ポスターの募集と入賞作品の展示、啓発チラシの作成・配布、及び研修会の開催等、不法投棄防止対策について広域的に取り組んだ。

伊勢地域不法投棄防止対策協議会会員等

区分	構成市町村等
会長	伊勢市
副会長	明和町
監事	玉城町、大紀町
会員	南伊勢町、度会町
参与	伊勢農林水産商工環境事務所、松阪農林商工環境事務所、伊勢警察署、松阪警察署、大台警察署

(4)不法投棄物除去作業の実施

伊勢市の参加する伊勢地域不法投棄防止対策協議会が、広域的に連携して不法投棄防止対策に取り組んでおり、例年1月と2月を不法投棄防止啓発期間として活動している。平成18年度は、各自治会等で行われた不法投棄除去活動に対して、回収作業等の協力をした。

7 廃棄物投棄場処理状況

(1)稼働状況

効率的な埋立処理を行うため、職員及び臨時職員の3名が搬入廃棄物の監視及び場内誘導整理にあたり、また、埋立処理については、サンドイッチ工法をとり、ブルドーザー、油圧ショベル等の重機を使用して覆土処理を行った。

区 分	中型ブルドーザー	油 圧 シ ョ ベ ル	計
延 べ 稼 働 時 間	44 時間	165 時間	209 時間

(2) 搬入状況

資源循環課搬入分として 48,100kg、市民自己搬入分として 74,200kg 公共関係その他として 470,900kg の搬入状況となった。

区 分	搬 入 車 数	搬 入 量	金 額
資源循環課搬入分	車 65	kg 48,100	円 -
市民自己搬入分	141	74,200	121,740
公共関係その他分	585	470,900	-
計	791	593,200	121,740

(3) 廃棄物投棄場使用（搬入）許可件数

許可証交付        89 件        121,740 円

# 清 掃 課

## 1 収集概要

旧伊勢市地区の一般廃棄物（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光管及び小動物の死体）を車両 42 台、収集人員 94 名の体制で収集を行った。収集した一般廃棄物については、4 市町で構成する伊勢広域環境組合及び古紙業者（紙類、布類のみ）へ搬入し処理を行った。

なお、国民の祝日に関する法律のハッピーマンデー（月曜日の祝日固定、年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）により、可燃ごみの収集回数に差が生じるため、月・木曜日地区については、平成 15 年 7 月 21 日（海の日）よりハッピーマンデーの臨時収集を行っている。

また、粗大ごみ、資源物の収集補助及び資源拠点回収ステーションの受付等業務を伊勢市シルバー人材センター等に委託し収集業務を実施している。

## 2 収集体制

### (1) 収集車両

旧伊勢市地区の一般廃棄物（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光管及び小動物の死体）の収集を 42 台の車両で行った。

収 集 車 両										計
5 t プレス	4 t ロード パッカー	4 t プレス	2 t ロード パッカー	2 t プレス	2 t ダンプ	2 t パワー リフト	2 t 貨物	軽四 ダンプ	軽トラ	
台 1	台 1	台 1	台 24	台 4	台 2	台 3	台 3	台 2	台 1	台 42

### (2) 収集人員

旧伊勢市地区の一般廃棄物（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物、乾電池、蛍光管及び小動物の死体）の収集を 94 名の人員で行った。

運転手	業務員	計
名 18	名 76	名 94

## 3 可燃ごみ、不燃ごみの収集状況

一般収集については、旧伊勢市地区を 2 地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、1 地区 20 コース（2 t パッカー車 19 コース、軽ダンプ 1 コース）にて、可燃ごみは週 2 回、不燃ごみは隔週 1 回（水曜日）収集を行った。

有料収集については、申込みにより戸別に粗大ごみ及び多量ごみの収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、各自治会単位（116自治会）で年1回（31日間）収集を行った。

その他公園等公共施設については、随時収集を行った。

区 分	可燃ごみ		不燃ごみ		計	
	延べ収集車数	収 集 量	延べ収集車数	収 集 量	延べ収集車数	収 集 量
一 般 収 集	車 13,775	kg 20,401,950	車 2,245	kg 1,031,630	車 16,020	kg 21,433,580
有 料 収 集	400	120,550	22	6,600	422	127,150
町内一斉粗大ごみ収集	286	297,530	258	256,370	544	553,900
公園等公共施設その他収集	534	255,730	133	50,310	667	306,040
合 計	14,995	21,075,760	2,658	1,344,910	17,653	22,420,670

#### 4 資源物の収集状況

資源物については、旧伊勢市地区を16地区に分け、約1,000箇所の資源回収ステーションを設置し、資源びん・紙類・布類・ペットボトルは月1回、プラスチック製容器包装は月2回収集を行った。

なお、資源物収集については、資源物を持込できる施設として、資源拠点回収ステーションを平成14年度より順次開設しており、資源物の収集体制の強化を図っている。開設状況としては、平成18年度末現在で10箇所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・北浜・宮本・沼木及びいせトピア）している。

また、平成9年11月より視覚障害者宅（11名）を戸別で隔週1回（水曜日）訪問し、資源物収集を行っている。

##### (1)資源物収集量

区分	資源びん	新聞	雑誌類	段ボール	紙パック	布類	ペットボトル	プラスチック製容器包装	計
(注) 収集量	kg 475,360	kg 711,740	kg 1,949,460	kg 561,200	kg 20,430	kg 50,950	kg 198,050	kg 748,190	kg 4,715,380

(注) 収集量については、資源拠点回収ステーション収集分を含む。

(2) 資源拠点回収ステーション収集量

区分	資源びん	新聞	雑誌類	段ボール	紙パック	布類	ペットボトル	プラスチック製容器包装	計
収集量	kg 118,580	kg 217,960	kg 428,239	kg 141,285	kg 13,112	kg 13,102	kg 38,685	kg 94,587	kg 1,065,550
全体量に占める割合	% 24.9	% 30.6	% 22.0	% 25.2	% 64.2	% 25.7	% 19.5	% 12.6	% 22.6

(3) 視覚障害者宅戸別回収

平成18年度訪問回数 延べ275回（内訳11名×25回）

5 乾電池、蛍光管の収集状況

乾電池、蛍光管については、公共施設及び販売店にて拠点収集を行った。

区分	乾電池	蛍光管
収集量	(注) kg 40,989	kg 24,560

(注) 乾電池については、広域直接搬入分を含む。

6 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ及び多量ごみの有料収集手数料として2,364,300円を徴収した。

また、犬猫等の小動物231匹の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた小動物81匹については、1体につき1,050円の手数料として、85,050円を徴収した。

区分	一時有料	
	件数	金額
有料収集	件 441	円 2,364,300
小動物の死体	匹 81	円 85,050
合計	件 522	円 2,449,350

(2) 一般廃棄物処理手数料の免除を下記のとおり行った。

区分	生活保護世帯	火災被害	計
件数	件 4	件 9	件 13